

事務事業名	放射能対策事業	事務事業No.	40104000869	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災における、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の流出により、農産物の出荷制限・風評被害が発生し、その損害賠償請求が生じた。また、安全・安心な農畜産物を消費者に提供するため、放射性物質の検査を実施した。 					
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> ・各農業者等が、個別に損害賠償の請求や和解等の交渉を行うことは極めて困難で、市が損害賠償対策協議会を組織して、JA系統外の対応を一括窓口として請求受付することで幅広い支援が行える。 ・市内で生産された農産物の安全性を確認のために検査をできるようにしてほしい。 					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> ・農業者等の支援・農産物の安全・安心に繋がるため結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> ・JA系統外のみならず、損害賠償を希望するすべての農業者等を救済するためには、きめ細やかな支援が不可欠である。 ・放射性物質検査は、農産物の安全・安心のために必要であり、検査機関が限られている。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・損害賠償請求はピークを過ぎており、この先も請求はあまりないと思われる。 ・市で実施している検査室も件数は減少しつつある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> ・東京電力(株)福島第一原発の事故は収束したわけではないため、検査体制を維持すべき。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・類似事業がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・農林課としての事業費はない。 ・必要最低限の事務量で行っている。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> ・農家全体の支援となっているため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨	福島第一原子力発電所事故から10年以上が経過したが、茨城県をはじめ、近隣自治体では放射能検査の実施を継続している。市内の農産物の安全性を今後もPRしていくためにも検査は継続していくべきと思われる。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 ⇨ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 ⑤																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う) C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>